



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第52回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第52回全国研究発表大会は、平成26年6月14日(土)、15日(日)に法政大学(市ヶ谷キャンパス)にて開催されます。つきましては、多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。何卒宜しくお願い申し上げます。

### 記

開催日：平成26年6月14日(土)、15日(日)

開催場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

<http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>

連絡先：実行委員長 法政大学 石島 隆

E-Mail : [ishijima@im.i.hosei.ac.jp](mailto:ishijima@im.i.hosei.ac.jp)

統一論題：「不正・改ざん・偽装に対応するための経営システム」(予定)

参加費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円(当日支払いは 1,000 円高)

非会員の学生は当日支払いの学生会員と同額の 4,000 円

懇親会費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 3,000 円(当日支払いは 1,000 円高)

昼食：近隣の飲食店、コンビニ等をご利用ください。14日(土)は学内の食堂も利用可能です。

宿泊等：大学近くに「アルカディア市ヶ谷」などのホテルがありますので、各自でご予約ください。

発表申込：本 JAMS NEWS 6 頁の研究発表申込書に必要事項を記入の上、4月18日(金)まで(厳守)に学会事務局宛 Fax. 03-3371-5185 して下さい。申込書のダウンロード、フォームによる申込みは学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> からでもできますのでご利用下さい。

発表原稿締切：5月14日(水)まで(厳守)、学会事務局宛

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙にて、上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

### ■発表者の方へ(会場設備について)

すべての発表会場に PC とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータを USB メモリーに入れてお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり、準備に時間がかかりますので、ご注意ください。

### ■学生発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい(もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい)。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員(一般的には指導教員)との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とする。

## ■大会会場へのアクセス

- 【JR線】 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10分

## 主なターミナルからの交通アクセス

18	東京駅	JR中央線快速 約4分	御茶ノ水駅	JR総武線 約4分	飯田橋駅	徒歩 約10分
20	新宿駅	JR総武線 約10分			市ヶ谷駅	徒歩 約10分
20	池袋駅	地下鉄有楽町線 約10分			飯田橋駅	徒歩 約10分
19	渋谷駅	地下鉄半蔵門線 約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線 約3分	市ヶ谷駅	徒歩 約10分
20	上野駅	JR山手線 約4分	秋葉原駅	JR総武線 約6分	飯田橋駅	徒歩 約10分

市ヶ谷キャンパス

内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

## ■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

### 1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

### 2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

### 3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

### 4. 発表件数の制約

同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。

### 5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

### 6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

### 7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

## 第51回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 村山 秀次郎

日本経営システム学会第51回全国研究発表大会が、2013年12月7日(土)～8日(日)、統一論題「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」のもとに、広島経済大学で開催されました。基調講演として、NTTデータ ビッグデータ・ビジネス推進室 部長 中川慶一郎氏より「ビッグデータ時代におけるビジネス・アナリティクスとデータ・サイエンティスト」と題してご講演をいただき、特別講演として、有限

会社 平田観光農園 代表取締役会長 平田克明氏より「地域の特色を生かし・特産品をつくり、それを活かすニュービジネスの展開」、と題したご講演をいただき、参加者と講演者の間で活発な討論が交わされました。また、統一論題に対する研究発表 2 件、自由論題に対する研究発表 94 件（うち学生発表 42 件）の講演があり、やはり活発な討議がなされました。

大会の実参加者は 174 名、懇親会参加者は 83 名でした。開催校側準備の不行き届きでご迷惑、不都合があったにもかかわらず、今大会が混乱もなく運営できたのは、ひとえに大会実行委員各位の献身的な働きと全国の会員諸氏のご協力とご寛容によるものでありました。ここに、改めて深く御礼申し上げます。

---

## JAMS 学生研究発表優秀賞について

---

表彰委員長 林 誠

平成 25 年度第 51 回全国研究発表大会（於：広島経済大学）終了後、表彰委員会を開催し、慎重に表彰候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記の 4 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたのでご報告いたします。

1. 「非協力関係下での 2 レベル非線形計画問題に対する戦略的振動を用いたハイブリッドメタ解法」  
門田 純弥（広島大学）
2. 「孔子思想に基づいた評価システムに関する一考察」  
史 文珍（愛知工業大学）
3. 「駅力指数を用いた土地の鉄道交通利便性指標の求め方」  
原 洋平（千葉工業大学）
4. 「バックオーダーと順序依存型段取り時間を考慮した多品目容量制約付きロットサイズ決定問題に対する緩和固定法」  
木内 敦規（東海大学）

---

## 平成 25 年度第 2 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2013 年 9 月 5 日（木）、15 時 00 分～17 時 00 分
- II. 開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1 号館 3 階会議室
- III. 出席者：石井、小田、塩出、板倉、今井、金子、佐々木、鄭、田畑、原田、福井、松岡、毛利、柳田、石島、上原、上野、椎原、野口、水野、山下、山田 監事 松丸（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 平成 25 年度第 1 回理事会議事録の確認（毛利）：平成 25 年度第 1 回議事録の内容が報告され、一部修正のうえ承認された。
  2. 会員の入退会（毛利）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 539 名、学生会員 129 名となった。
  3. 第 51 回全国研究発表大会の準備状況について（板倉）：資料に基づいて説明され、承認された。
  4. 2014 年度秋以降の大会の開催について（上原）：2014 年度秋季の第 53 回の大会については実行委員長を小田哲久先生とし愛知工業大学自由ヶ丘キャンパスにて開催することになった。開催時期については 10 月にするという説明がなされ、承認された。
  5. ICBI2014 年の開催準備について（柳田）：2014 年 9 月 2, 3 日にハワイ州ホノルルにて ICBI2014 を開催するという説明があった。未確定の部分については決定次第 JAMS NEWS や HP に記載する。
  6. 学会誌原著執筆細則について（金子）：論文誌原著執筆細則（案）について説明がされ、文言の訂正と細則の改定要件について他の細則との統一を図るということになった。
  7. 委員会細則と評議員細則について（毛利）：委員会細則（案）について説明がされ、会長、総務委員長および規定委員長が他の細則との統一を図ったうえで承認されることになった。また評議員細則については評議員の役割等を再考したうえで再度、提案することとなった。
  8. 会員名簿発行について（福井）：会員名簿を発行するという説明がされ、承認された。
- V. 報告事項
  1. 通常総会の議事録について（毛利）：第 35 回通常総会の議事録について報告がなされ承認された。
  2. 第 50 回全国研究発表大会の開催結果について（柳田）：第 50 回全国研究発表大会の開催結果が報告され承認された。

3. 学生発表優秀賞について（山下）：第 50 回全国研究発表大会における学生発表優秀賞について報告がなされた。
4. IJAMS 編集状況について（板倉）：IJAMS 編集状況について報告があった。次号の電子ジャーナル化については会長と IJAMS 編集委員長に一任することになった。
5. 他学会への協賛等について（毛利）：渉外委員会が 2014 年春のモバイル学会のシンポジウムに協賛を承認したとの報告があった。
6. 横幹連合（板倉）：横幹連合コンファレンスが 2013 年 12 月 21 日、22 日に香川大学において開催されるという報告があった。

---

## 平成 25 年度第 3 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2013 年 12 月 7 日（土）、11 時 00 分～12 時 30 分
- II. 開催場所：広島経済大学 本館 4 階 第 2 会議室
- III. 出席者：石井、小田部、小田、塩出、板倉、金子、佐々木、佐藤、鄭、田畑、林、原田、松岡、毛利、柳田、浅井、石田、稲永、上原、木全、椎原、島田、中桐、西口、野口、深澤、松田、水野、村山、山田 監事）松丸（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 平成 25 年度第 2 回理事会議事録の確認（毛利）：平成 25 年度第 2 回議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
  2. 会員の入退会（毛利）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 547 名、学生会員 133 名となった。
  3. 第 51 回全国研究発表大会の準備状況について（村山）：第 51 回全国研究発表大会の準備状況について一般 54 件、学生 42 件の発表、142 名の参加者事前申し込みがあったとの報告がなされ、承認された。
  4. 第 52 回全国研究発表大会の準備状況について（柳田）：第 52 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ、承認された。日程については学内での抽選のため 6 月 14、15 日、7、8 日、21、22 日を候補に 1 月に確定する予定である。
  5. 平成 27 年度以降の大会の開催計画について（柳田）：現在、開催校について交渉中であることが報告され、承認された。
  6. ICBI2014 の準備状況について（佐藤）：ICBI2014 の準備状況について説明がなされ、承認された。
  7. 学会誌原著執筆細則について（金子）：資料に基づき説明がなされ、承認された。
  8. IJAMS の投稿規程について（板倉）：投稿規程について説明があり、次回総会に向けて継続審議とすることになった。また電子ジャーナル化に伴い原稿が 6 項を超える場合の超過料金は請求しないことになった。
  9. 会員名簿の発行について（上原）：資料に基づき説明がなされ、事務局に掲載データについて再度確認してもらったうえで発行することが承認された。また予算を超過することも承認された。
  10. 大会経費の受け入れについて（田畑）：第 50 回大会の東洋大学からの補助金を学会事務局経費（大会広報のための JAMS ニュース発行費）に充当することを承認した。
  11. 表彰委員会の追加について（林）：料に基づき説明がなされ、学生発表の件数に対応するために上原衛氏（愛知淑徳大学）を表彰委員に追加することが承認された。
  12. 九州支部の設置について（山田）：山口県や沖縄県についての検討を行いつつ設置準備を進めることとして承認された。
  13. シニア会員について（小田）：資料に基づき説明がなされ、継続審議になった。
  14. 委員会細則について（松岡）：資料に基づき説明がなされ、承認された。
  15. 横幹連合の役員候補者の推薦について（石井）：会長に一任することが承認された。
  16. 学会誌のアブストラクトの Web サイトへの掲載について（浅井）：学会誌に掲載された論文のアブストラクトを学会 Web サイトに掲載してはどうかとの提案があり、学会誌編集委員会で検討することになった。
- V. 報告事項
  1. 規定類の改定の進捗状況について（松岡）：資料に基づき説明がなされ、承認された。
  2. 学会誌の発行について（金子）：資料に基づき説明がなされ、承認された。
  3. IJAMS の発行と今後の計画について（板倉）：配付資料に基づき説明がなされ、承認された。
  4. 創立 30 周年記念出版の販売状況について（椎原）：資料に基づき報告がなされた。
  5. その他：横幹連合コンファレンスの案内について（板倉）

---

## JAMS/JAIMS ICBI 2014 国際大会の発表者募集

---

本学会が主催する国際大会 ICBI2014 の発表者・参加者を募集しています。要旨投稿締切を3月末日まで延長しました。奮ってご応募頂けますよう、ご案内申し上げます。

### 記

開催日	2014年9月2日～4日
開催場所	米国ハワイ州ホノルル市 JAIMS 校舎
統一論題	“Management Systems for Cooperative Business Applications”
発表の条件	経営・システム・情報・管理に係わる内容で未発表のもの。
発表申込締切	2014年3月31日 表題と要旨。要旨は英文1,000字以内とする。発表の可否は審査により決定される。
採択通知予定	2014年4月10日 採択論文の口頭発表者は事前参加登録をしなければならない。事前参加登録がない場合は発表をキャンセルする。ファーストオーサーとしての口頭発表は、一人1件までとする。
予稿原稿締切	2014年5月31日 IJAMS の書式で作成する。刷り上がり4頁以上。予稿書式は ( <a href="http://www.jams-web.jp/en/ijams.html">http://www.jams-web.jp/en/ijams.html</a> )参照。予稿は PDF 文書として、大会当日に USB メモリで参加者に配布する。
事前参加登録締切 参加費	2014年5月31日 (昼食・懇親会費を含む)事前登録3万円、当日現地申込4万円。参加費は予稿 USB メモリ、予稿掲載料、大会当日の会場費・昼食・レセプションを含む。
大会運営委員長	石井博昭 (本学会会長、関西学院大学) Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長)
大会実行委員長	佐藤修 (東京経済大学) Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長)
実行委員	柳田義継 (本学会大会委員会委員長、横浜商科大学) 佐々木桐子 (本学会大会委員会副委員長、新潟国際情報大学) 立川大和 (戸板女子短期大学) 寺本佳苗 (富山短期大学) 立川丈夫 (横浜商科大学)
詳細情報 問い合わせ先	大会ウェブページ <a href="http://www.jams-web.jp/information/icbi2014/">http://www.jams-web.jp/information/icbi2014/</a> icbi2014@gmail.com

---

## ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

---

開催日予定日時：2014年4月26日(土) 15:00-17:00  
開催場所：日本大学 生産工学部 30号館5F 小田部研究室  
連絡先(幹事)：金子 勝一 (山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

---

## 経営モデル研究部会のお知らせ

---

開催日予定日時：2014年5月24日(土) 15:00-17:00  
開催場所：東海大学 高輪キャンパス  
連絡先：田畑 智章 (東海大学) Tel.03-3441-1171 E-Mail:tabata@tokai-u.jp  
金子 勝一 (山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

# 日本経営システム学会 研究発表申込書

## 平成 26 年度 第 52 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題			
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ( )	2. ( )	
当日の口頭発表者には*を付す	3. ( )	4. ( )	
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)			代表者名: ( )

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					
-----------------	--	--	--	--	--

- 注：1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。  
 2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)  
 3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703  
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
 E-Mail: keieisys@hh.ij4u.or.jp